

## 令和7年度政策討論会 第三分科会（第3回）要点記録

- ・日時 令和7年7月28日（月）
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10:00～11:10
- ・出席者
  - 中岡 佐織（座長）
  - 西田 武史（副座長）
  - 小西 拓模
  - 殿本 マリ子
  - 南 加代子
  - 友永 修
  - 中井 良介（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：郷土愛について - 岸和田市讃歌、岸和田音頭などを活用しながら -

1. 内容：学校教育課を招へいし、岸和田市讃歌、岸和田音頭の現在の活用状況を確認
2. 各議員の発言要旨

（友永議員）

- ・ 一人の先生が、岸和田市讃歌を活用した授業を独自で工夫しながら取り組んでいると伺ったので、校長の判断により、学校全体で取り組めるかと確認した。可能とのことだった。各学校（教育委員会）にご協力をいただき、学校内では、昼休みなどに「讃歌や音頭」を流していただけたらどうかと意見を述べた。以前、井舎議員の意見で、本会議開会前に讃歌を流してはどうかとあったことも伝えた。

（南議員）

- ・ 郷土愛を育む為、地域を巡りその歴史の背景や経緯を知る学びが(久米田池で讃歌を歌った)できることは良い。その場で体験し見聞きする機会が、教育現場でできないか。

（中井議員）

- ・ 市歌を普及させるために学校の音楽の時間や行事に歌わせるよう市や教育委員会が決めて実行させたら、という意見があるが、教育の中身に行政が口を出すことを控えるのが、これまでの行政と教育との関係である。意見の交換は必要であるが。駅で曲を流すなどはこの問題とは違う。駅が了解すればいいことでしょう。

(西田副座長)

- ・ 教育委員会の現状を聞いて、ほとんどの学校園が活用しておらず、存在すら知らない事が驚きである。今後、あくまでも強要するのではなく、自然と耳にする環境を整え讃歌や音頭の存在を知らしめる事が先決である。

(殿本議員)

- ・ 岸和田讃歌の BGM を登下校時等に流せるのか。
- ・ 岸和田讃歌を義務教育の歌唱指導に組み込んでいけないのか。
- ・ 来年行われる岸和田での「海づくり大会」や「成人式」、「卒業式」に流せないのか。

(小西議員)

- ・ 堺市で実施されている「堺っ子体操」のような取り組みは、岸和田市でも実現可能か。
- ・ 市から学校に対して、取り組みを促すうえで一定の強制力を持たせるには、どのような手立てが必要か。
- ・ 駅や商店街において、BGM として流すことは可能か。
- ・ 市のホームページに掲載することは可能か。

(中岡座長)

- ・ 学校だけでなく、市役所、駅、商店街、防災無線、海づくり大会の式典での合唱、城など市の公共施設などで流すことの可能性を担当課へ問い合わせます。  
次回はそれに基づいて岸和田での応用可能性の整理をします。

3. 次回の8月12日までに活用可能な行事や施設を座長がとりまとめ、議論する。